

2023/4 - 2023/12

第3四半期決算説明会資料

レオス・キャピタルワークス株式会社（証券コード：7330）

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会/一般社団法人 日本投資顧問業協会



RHEOS CAPITAL WORKS

1

2024年3月期第3四半期 決算概要

運用資産残高 (AUM)

12,002 億円

前期末比 **+4.9%**

一部戻り売りによる解約額が増加したが、2023年4月以降、投資信託の基準価額は堅調であったため、12月末時点の運用資産残高は前期末比4.9%増で着地。

営業収益

7,650 百万円

前年同期比 **+5.6%**

基準価額が堅調であったため、営業収益は増加。

営業利益

1,367 百万円

前年同期比 **+15.8%**

基準価額が堅調であったことに加え、支払手数料を除いた販管費の伸びが抑えられたことから、営業利益も増加。

業績（前年同期比）

（百万円）

	2023年3月期		2024年3月期	
	3Q	通期	3Q	前年同期比
委託者報酬	7,122	9,477	7,536	+5.8%
投資顧問報酬	119	182	143	+20.1%
営業投資有価証券関連損益 ¹	-	-	△29	-
営業収益	7,242	9,660	7,650	+5.6%
営業収益（ネット）²	4,358	5,815	4,600	+5.6%
販管費（除く支払い手数料）	3,176	4,204	3,232	+1.7%
営業利益	1,181	1,610	1,367	+15.8%
経常利益	1,195	1,625	1,375	+15.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	775	1,087	965	+24.6%
EPS	64.50円	90.50円	76.91円	+19.3%
潜在株式調整後EPS³	-	-	76.74円	-

1 第2四半期にレオス・キャピタルパートナーズが運営するVCファンドの出資先について減損処理を実施したために計上された金額であり、当社グループに帰属する損益は△4百万円程度となります

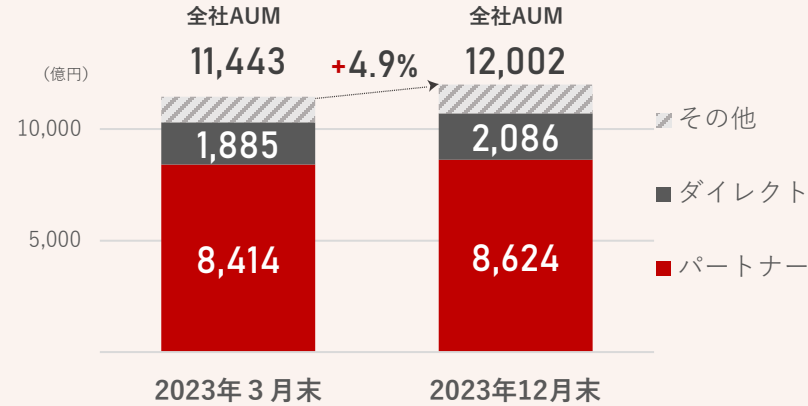
2 営業収益から支払手数料（間接販売における販売パートナーに支払う代行手数料）を控除したもの

3 2023年3月期の潜在株式調整後EPSについては、潜在株式は存在するものの、当社株式は2023年3月期においては非上場であるため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません

全社AUMの状況

全社AUM
12,002 億円
 前期末比 **+4.9%**

一部戻り売りによる解約額が増加したが、2023年4月以降、投資信託の基準価額は堅調であったため、12月末時点の運用資産残高は前期末比+4.9%の着地。



設定額 **+1,291** 億円
 解約額 **▲2,413** 億円
 基準価額変動による増減額 **+1,681** 億円

	2023年3月末	2023年12月末				
	AUM	AUM	AUM前期末比	設定額	解約額	基準価額変動 ³
投資信託	10,315	10,728	+4.0%	+1,291	△2,398	+1,519
ダイレクト ¹	1,885	2,086	+10.6%	+213	△295	+282
パートナー ²	8,414	8,624	+2.5%	+1,076	△2,102	+1,236
私募投信	15	17	+10.5%	+1	0	0
投資顧問	1,127	1,274	+13.0%	0	△15	+162
全社合計	11,443	12,002	+4.9%	+1,291	△2,413	+1,681

1 当社で口座を開設した顧客へ直接販売する公募投信

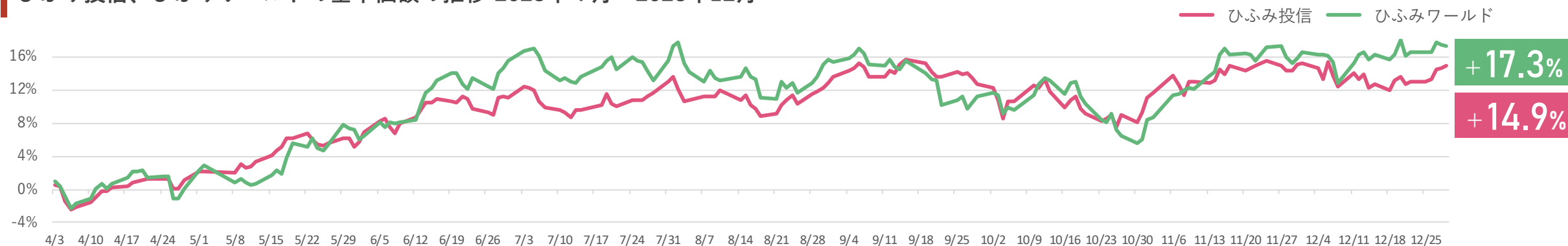
2 提携先の銀行・証券会社などを通じて間接販売する公募投信

3 基準価額の変動によるAUMの増減金額

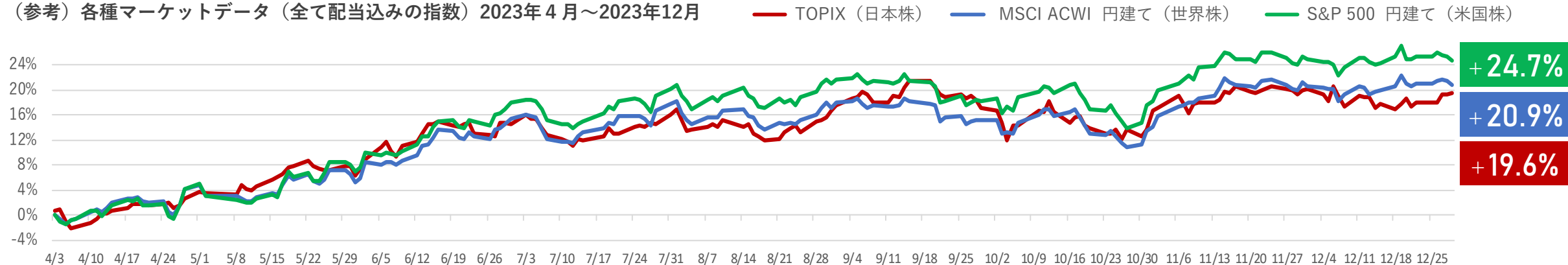
基準価額の推移

インフレ指標の落ち着きから海外市場が強い動きとなるとともに、日本市場は東証による低PBR銘柄へのテコ入れ期待、長らく続いたデフレからの脱却期待などから海外勢による見直し買いが進んだ。さらに、11月に入るとインフレ懸念が後退したことにより、欧米の主要株価指数は11月後半から12月にかけて年初来高値を更新したが、日本市場は上値の重い展開に終始し、前期末比の基準価額は、ひふみ投信+14.9%、ひふみワールド+17.3%となった。

ひふみ投信、ひふみワールドの基準価額の推移 2023年4月～2023年12月



(参考) 各種マーケットデータ (全て配当込みの指数) 2023年4月～2023年12月



※各種マーケットデータの説明については、後述の「当資料のお取り扱いにおけるご注意」をご参照ください

ダイレクトの状況

ダイレクトAUM

2,086 億円

前期末比 +10.6%

基準価額の上昇に伴い、戻り売りによる解約が増加したが、つみたて金額も一定水準で推移したことから、ダイレクトのAUMは増加。

残有口座数⁵

61,000 口座

前期末比 ▲1,402 口座

様々なセミナーを中心に数多くのお客様とのリレーションを深め、アフィリエイト等を利用した新規顧客の獲得にも注力し、残有口座数の減少傾向には底打ちが見られた。

ダイレクトAUM

(億円)

	2023年3月末	2023年12月末				
	AUM	AUM	AUM 前期末比	つみたて 金額 ¹	スポット 金額 ²	基準価額 変動 ³
ひふみ投信	1,437	1,586	+10.4%	82	△144	211
ひふみワールド	419	472	+12.7%	32	△50	71
ひふみらいと	29	27	△5.5%	1	△3	0
ダイレクト合計	1,885	2,086	+10.6%	116	△198	282

1 当社が提供する「つみたて購入」を契約いただいたお客様が実際に投資信託を買い付けた金額

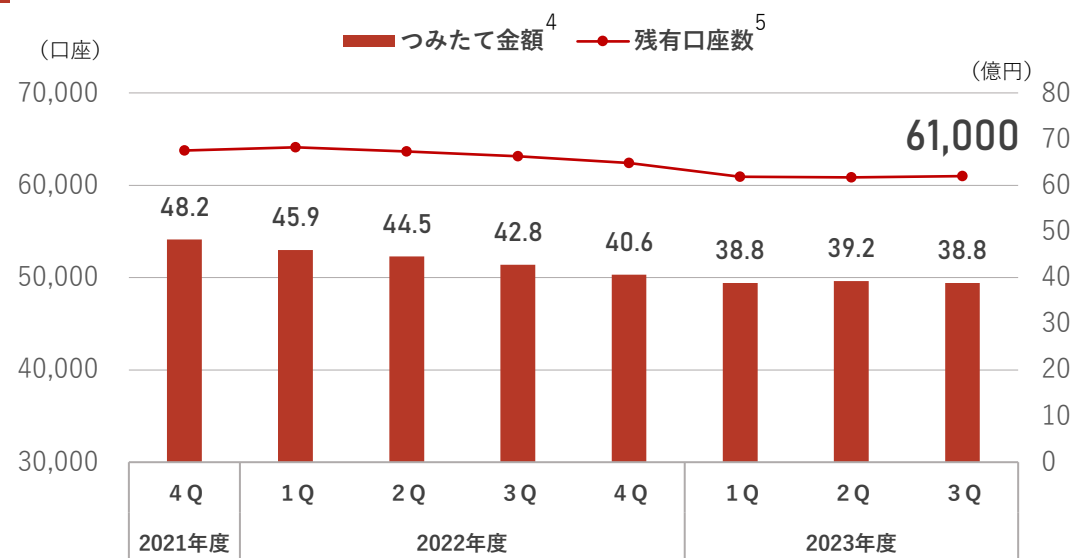
2 設定額から、上記1の金額と解約額を差し引いた金額、つまり、つみたてによる買い付けを除いた純流出入金額

3 基準価額の変動によるAUMの増減金額

4 各四半期における上記1の合計金額

5 各四半期末において、「ひふみ投信」、「ひふみワールド」および「ひふみらいと」のいずれかを保有する口座数

つみたて金額、残有口座数の推移



パートナーの状況

パートナーAUM

8,624億円

前期末比+2.5%

ダイレクトと同様に、投資信託の基準価額上昇に伴い、戻り売りによる解約が増加したが、一定の設定額も確保することができ、増加で着地。

販売パートナー数

のべ 270社

前期末比+13社

新NISA制度の導入を見据え、ひふみプラスを新規に取扱う販売パートナーを獲得でき、増加で着地。

パートナーAUM

(億円)

	2023年3月末	2023年12月末				
	AUM	AUM	AUM 前期末比	設定額	解約額	基準価額 変動 ¹
ひふみプラス	4,892	5,214	+6.6%	600	△1,000	721
ひふみワールド+	2,162	2,052	△5.1%	268	△727	348
ひふみ年金	583	705	+21.0%	101	△68	89
ひふみワールド年金	4	11	+164.9%	8	△2	1
まるごとひふみ15	81	71	△13.0%	47	△59	0
まるごとひふみ50	290	251	△13.2%	17	△74	18
まるごとひふみ100	399	317	△20.5%	31	△169	56
パートナー合計	8,414	8,624	+2.5%	1,076	△2,102	1,236

1 基準価額の変動によるAUMの増減金額

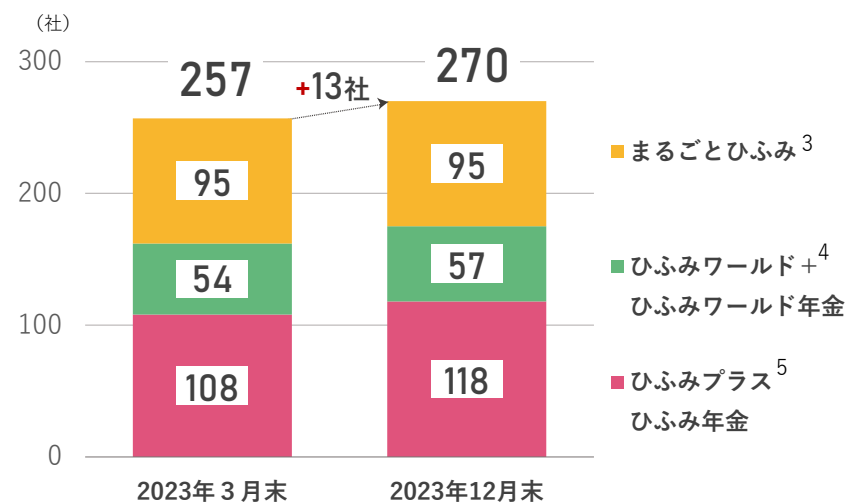
2 投資信託それぞれの取扱社数を合計したもの、例えばA社がひふみプラス、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100を取り扱っている場合は3社とカウント

3 まるごとひふみ15、まるごとひふみ50、まるごとひふみ100の取扱社数の合計

4 ひふみワールド+、ひふみワールド年金の取扱社数の合計

5 ひふみプラス、ひふみ年金の取扱社数の合計

各商品を取り扱う販売パートナー数²の推移



営業費用及び一般管理費の状況

調査費

560百万円

前年同期比 **+7.3%**

業容拡大や円安による
ドル建て費用の増加等の影響。

人件費

1,193百万円

前年同期比 **+8.0%**

前年度の新規採用による
人員増加の影響。

広告宣伝費

178百万円

前年同期比 **▲40.1%**

マーケットの状況を鑑み
一部出稿量を増やしたものの
効率的な広告活動に注力。

減価償却費

329百万円

前年同期比 **▲13.8%**

YouTube動画の制作を
前年同期比で抑制。

(百万円)

	2023年3月期	2024年3月期		概要
	2022/4 -2022/12	2023/4 -2023/12	前年同期比	
支払手数料	2,884	3,050	+5.8%	間接販売における販売パートナーへの支払手数料
調査費	522	560	+7.3%	顧客管理システム、投信バックオフィスシステム、マーケット情報サービス等の業務システムの利用料
その他営業経費	88	101	+14.1%	販売促進費、印刷費等
営業費用	3,495	3,712	+6.2%	
人件費	1,105	1,193	+8.0%	役員報酬、従業員給料等
広告宣伝費	298	178	△40.1%	新規顧客獲得のためのWEB広告費用、アフィリエイト費用、YouTube動画の送客費用
減価償却費	382	329	△13.8%	固定資産に計上したYouTube動画の制作費用の償却費等
不動産賃借料	159	155	△2.3%	本社オフィス賃料、NYオフィス賃料等
その他一般管理費	620	712	+14.9%	法定福利費、外注費、支払報酬等
一般管理費	2,566	2,570	+0.2%	
営業費用及び一般管理費 合計	6,061	6,282	+3.6%	

連結貸借対照表の状況

株主資本

6,548百万円

前期末比 +14.9%

1株当たり純資産金額

535.72円

- 親会社株主に帰属する当期純利益による利益剰余金が増加。
- 自己資本比率は62.8%となり、今後も強固な財務基盤の維持を目指す。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年12月末	前期末比
資産	8,704	10,430	+19.8%
流動資産	7,737	9,098	+17.6%
現金及び預金	2,103	3,640	+73.1%
顧客分別金信託	1,500	1,800	+20.0%
未収委託者報酬	3,725	3,251	△12.7%
営業投資有価証券	218	238	+9.0%
固定資産	967	1,331	+37.7%
有形固定資産	238	667	+180.1%
無形固定資産	381	354	△7.1%

	2023年3月末	2023年12月末	前期末比
負債	2,610	3,528	+35.2%
流動負債	2,432	3,203	+31.7%
固定負債	177	325	+82.9%
純資産	6,094	6,901	+13.3%
株主資本	5,700	6,548	+14.9%
資本金	100	322	+222.3%
資本剰余金	407	629	+54.6%
利益剰余金	5,193	5,596	+7.8%
非支配株主持分	393	352	△10.3%

(参考) 四半期の状況

(単位：百万円)

四半期の業績推移	2023年3月期				2024年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
委託者報酬	2,322	2,396	2,403	2,354	2,487	2,548	2,500
投資顧問報酬	52	56	10	62	63	68	11
営業投資有価証券関連損益	-	-	-	-	-	△29	-
営業収益	2,375	2,452	2,414	2,417	2,551	2,587	2,511
営業収益（ネット）	1,437	1,482	1,438	1,457	1,538	1,557	1,503
販管費（除く支払い手数料）	1,035	1,068	1,073	1,027	1,054	1,043	1,134
営業利益	402	414	364	429	483	514	369
経常利益	412	419	364	430	482	520	372
四半期純利益	262	265	230	306	327	346	251
親会社株主に帰属する当期純利益	264	274	235	312	332	377	256

(単位：億円)

AUM	2023年3月期				2024年3月期		
	1Q末	2Q末	3Q末	4Q末	1Q末	2Q末	3Q末
投資信託	9,623	9,652	9,751	10,315	10,957	10,756	10,728
ダイレクト	1,766	1,766	1,790	1,885	2,059	2,060	2,086
パートナー	7,810	7,836	7,944	8,414	8,881	8,678	8,624
私募	46	48	16	15	17	16	17
投資顧問	877	1,050	1,073	1,127	1,234	1,207	1,274
全社合計	10,501	10,702	10,824	11,443	12,192	11,963	12,002

当社は、2023年3月期第1四半期及び第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値を記載しております。当該数値及びAUMについては、東陽監査法人による監査及び四半期レビューを受けておりません。



RHEOS CAPITAL WORKS

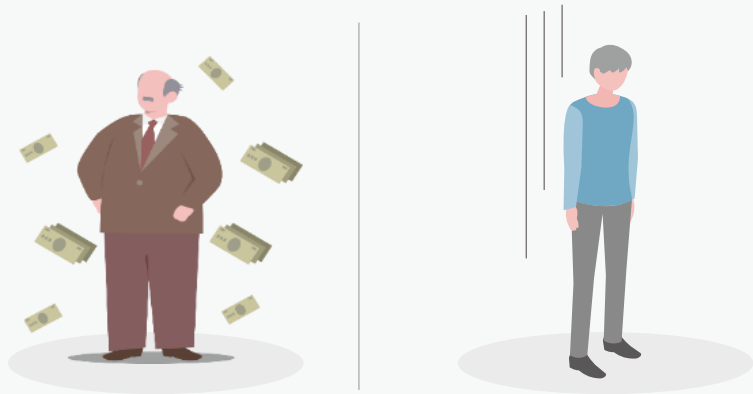
2

中長期計画

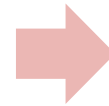
「ファイナンシャル・インクルージョン」

私たちの課題認識

日本人の大多数が、
「資産形成に投資は必要ない」と考えており
日本の個人金融資産に占める現預金比率が高い状況。



このままでは、金融資産の構成が二極化し、
金融格差が広がるのでは…



私たちのミッション

Financial Inclusion

ファイナンシャル・インクルージョン



金融サービスの恩恵を全ての人々が
享受できる世界を目指します

私たちの考える「ファイナンシャル・インクルージョン」へのアプローチ手法

お客様の多様化



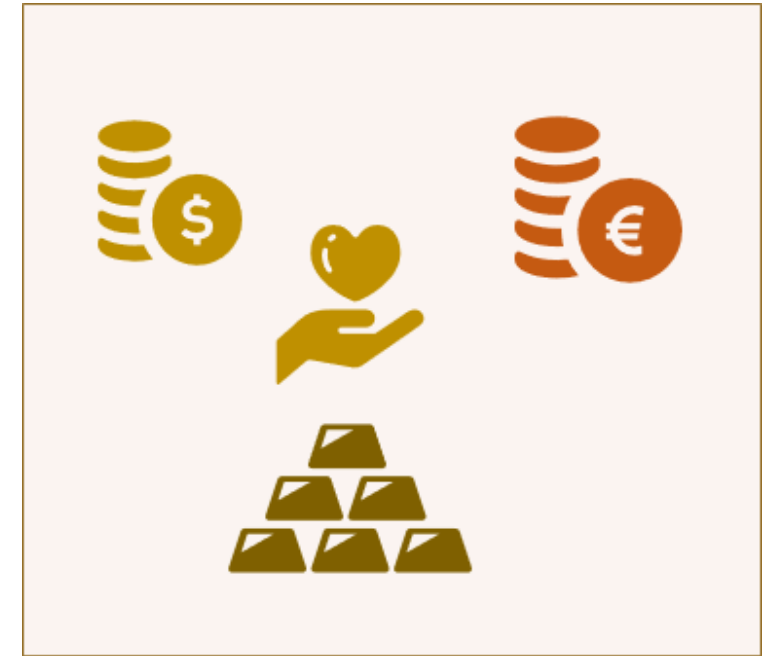
性別・年齢・地域・資産状況
関係なく金融の魅力をお伝えする

投資先の多様化



挑戦するあらゆる人を
お金で応援する

投資手法の多様化



投資信託以外の手法への展開

主に日本小型株に投資するファンドをリリース



ひふみ
M/W

ひふみマイクロスコープ[®] pro

見えない価値を見つければアクティブファンド

主に成長が期待できる「日本の小型株」に投資

ひふみ マイクロスコープ[®]pro

小型株を対象として、「見えない価値を見つける」アクティブファンドである当ファンドの特長を、肉眼では見えない微小なものを観察・分析する装置である顕微鏡（マイクロスコープ）になぞらえて表現しました。

お客様の多様化を目指す ～ ひふみproシリーズの位置づけ

既存の「ひふみ」シリーズをbasicと位置づけ、徹底的な調査・分析で柔軟に投資対象の選別を行なうアクティブファンドとしての特長を共有しつつ、さらに投資の魅力やワクワクを体感したい方向けのファンドシリーズを「pro」と名付けました。当ファンドでは、小型株の中から成長企業を発掘することで、お客様にワクワクをお届けします。

	ファンド	想定顧客	NISA
basic	既存のひふみシリーズ	投資がはじめての方から 経験者まで幅広い方	つみたて投資枠 対象を目指す
pro	ひふみマイクロスコープpro 今後商品拡充も検討	投資に更なるワクワクを求める方 次の一本をお考えの方	成長投資枠

投資手法の多様化を目指す

日本

世界

株式

ひふみマイクロスコープpro

小型

プライム/オール

小型

テーマ

エリア別

ひふみ投信

ひふみワールド

債券

投資適格社債

新興国/ジャンク級

ひふみグローバル債券マザーファンド

※ひふみらいと・まるごとひふみ15・まるごとひふみ50の投資対象ファンド

その他

PE/VC

不動産

※国内小型株ファンド以外の領域については、現時点で具体的な新ファンド組成の予定はありません。

日本企業をあらゆる角度から応援 ～投資先の多様化を目指す～

(時価総額)

IPO後の断絶

IPO



死の谷

IPO前後に成長資金を十分に確保できず、IPO後に成長が伸び悩む「死の谷」に陥る新興企業が多く見られる

ひふみマイクロスコープproを通じて成長の期待できる企業を選別して資金供給

未公開株

ポストIPO小型株

中型株・大型株

企業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 赤字で常に資金資金を確保 ✓ 直接やり取り可能な投資家とのみ接触 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 成長フェーズ ✓ 増資により成長資金確保したい ✓ IRに割くりソースが乏しい 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ IRに経営資源を投入可能
投資家タイプ	<ul style="list-style-type: none"> ✓ エンジェル投資家・VC 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 個人投資家中心 ✓ 安定株主不足 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 国内外の機関投資家が増加
投資家目線	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 上場に向けて前向きに応援 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 短期志向 ✓ 上場企業の4,000社のone of them ✓ アナリストカバーなし 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 長期目線での投資家含む多様な目線 ✓ アナリストカバーが増加

レオス・キャピタルワークス

レオス・キャピタルパートナーズ

ひふみ投信マザーファンド

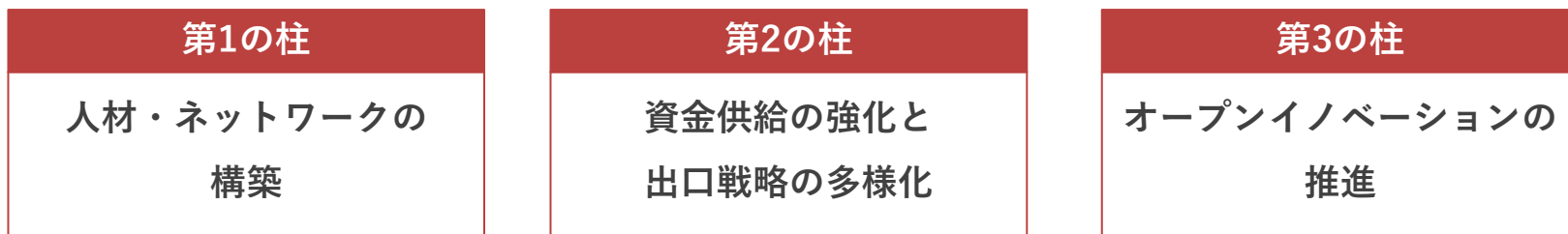
政府は「これから勝負の新興企業」の増加を推進



政府

- 2027年度にスタートアップへの投資を10兆円規模に！
- ユニコーン※100社、スタートアップ10万社創出で世界有数のスタートアップ集積地に！

目標達成のための3つの柱



当社が強みを発揮できる領域

※ユニコーンとは、時価総額10億ドル超の未公開企業

小型株市場には2つのタイプが存在、当商品はそれぞれに合わせた目線で投資

小型株市場には大きく分けて「これから勝負の新興企業」「忘れられた中小企業」の2つのタイプが存在しています。



＼政府も後押し／

これから勝負の新興企業

- ✓ 株式公開を経て上場マーケットにデビュー
- ✓ 売上・利益のさらなる成長が期待



忘れられた中小企業

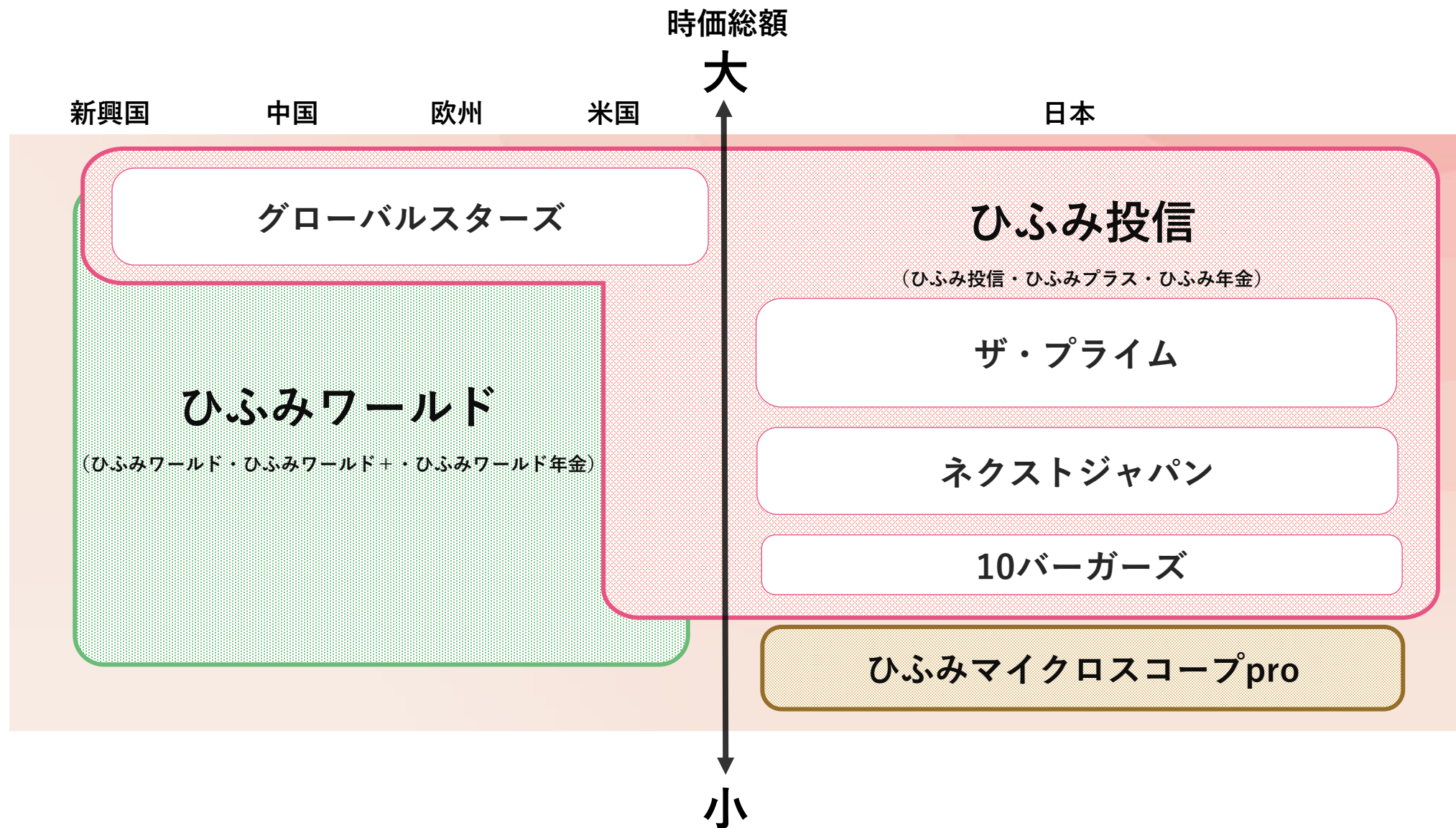
- ✓ 上場から時間が経ち、ポテンシャルはあるが注目度が低い
- ✓ 安定成長フェーズ入り

ひふみマイクロスコープproでは2つのタイプに合わせた目線で投資を実施します。

IPO企業を詳しく分析し、長期目線でポストIPOに訪れる「死の谷」を超える成長を後押しします

株式市場参加者が見落としている「新たな変化」を捉え、さらなる成長を後押しします

ひふみシリーズ ~ 投資ウェイト・イメージ



ひふみ投信マザーファンドでは4つの分野を重点的に調査・投資を行なっています。

1. The Prime (ザ・プライム) : 日本の未来を切り開く、大企業に投資 (時価総額1兆円以上)

2. Next Japan (ネクストジャパン) : 次のリーダーと期待される成長企業に投資 (時価総額1,000億円~1兆円)

3. Ten Burgers (10バーガーズ) : 10年で10倍になる可能性を秘めた新興企業 (時価総額1,000億円未満)

4. Global Stars (グローバルスターズ) : 米国、中国を中心とした海外企業に投資

新ファンドを取り巻く環境—昨年からの好材料で、大型株は好調の流れ



東証改革

低PBR企業への改善要請。
それを受けた株主還元拡大の動き



経営者若返り

大企業で社長交代が相次ぐ。企業の
統治形態が生まれ変わりつつある。



金融緩和

日本銀行は2024年1月も金融緩和策の
維持を決定した。



インバウンド

訪日外国人客が急回復。2023年の急回復
から2024年も一層の増加が見込まれる。



NISA拡充

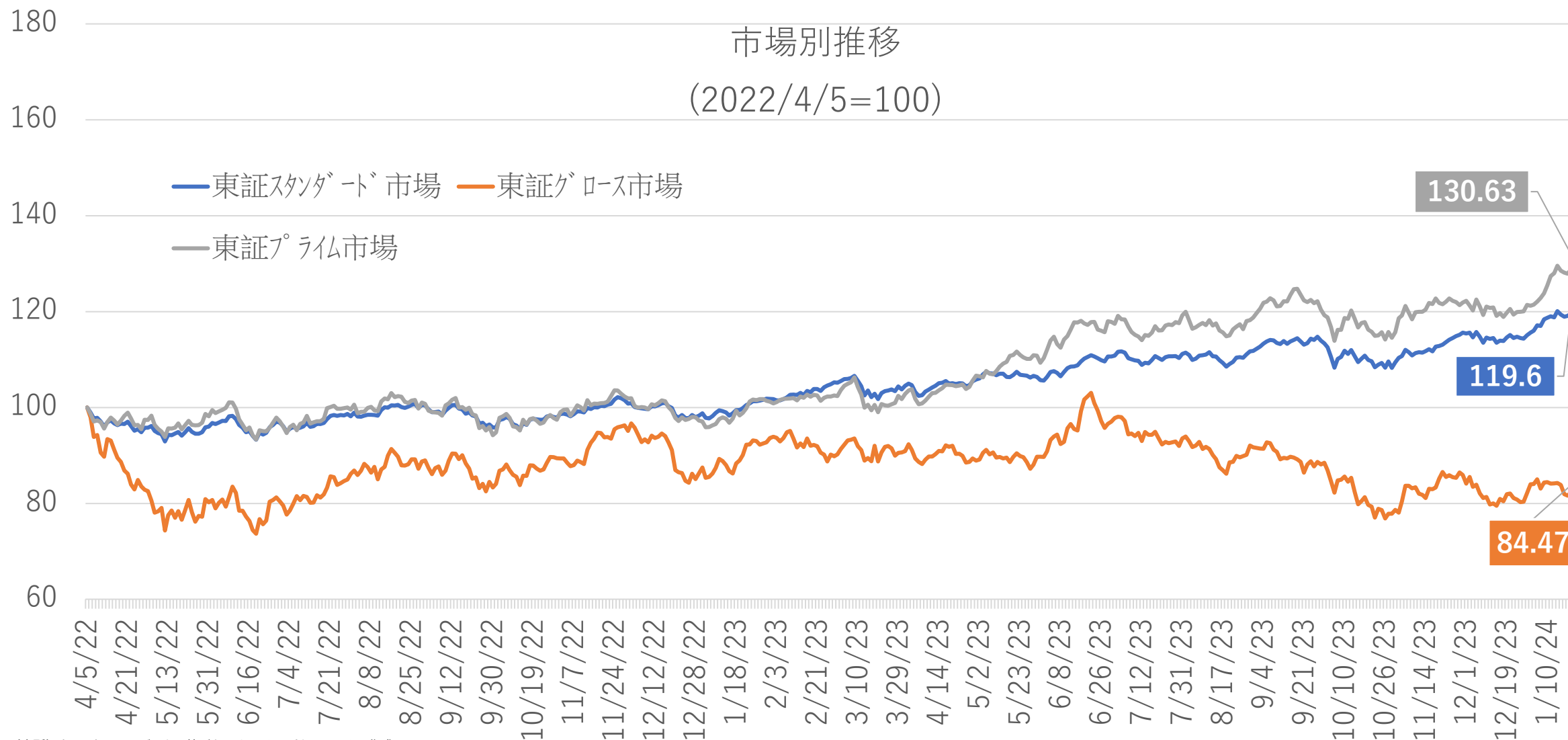
2024年新NISAがスタート。個人投
資家の大幅な増加が見込まれる。



海外投資家

東証改革の影響や、2023年バフェット
氏の来日や発言で日本株再評価の動き。

中小型株は大きく出遅れている状況

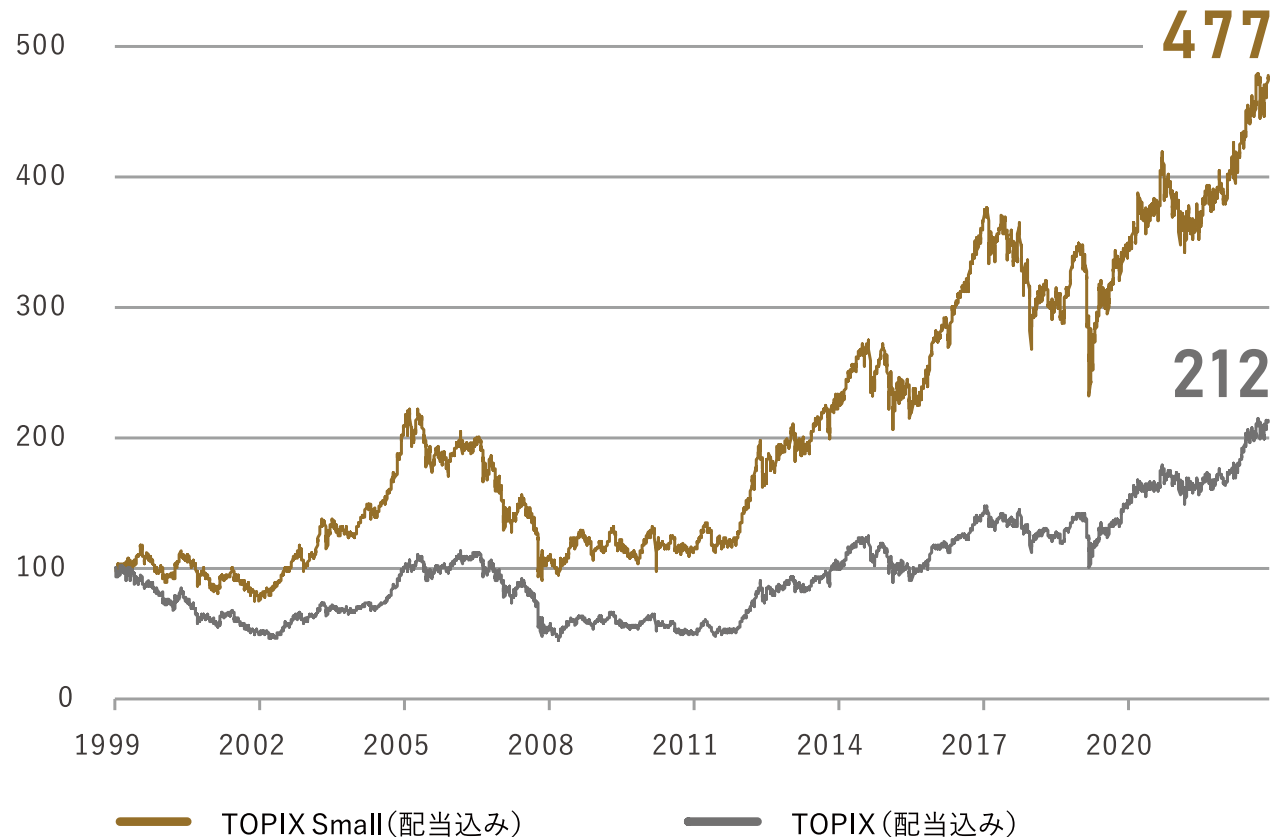


(出所) Bloombergのデータに基づきレオス・キャピタルワークス作成

※TOPIX、TOPIX LARGE70、TOPIX MID 400、TOPIX CORE30、TOPIX Small、(以下、「TOPIX等」といいます。)東証スタンダード市場、東証グロース市場、東証プライム市場の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中絶に対し、責任を負いません。

長期的に好調な国内小型株市場

設定来運用実績



小型企業の強み(大企業との比較)

- 1 高い利益成長の追求**
 - 参入障壁が高い市場、あまり知られていないニッチ市場や他が真似できない得意分野に経営を集中
- 2 ニーズの変化に素早く対応**
 - ビジネスモデルや意思決定プロセスがシンプル
 - ニーズや変化に素早く対応することが可能
- 3 技術革新の促進**
 - 大型企業にはない新興市場の成長期待

小型企業は高いポテンシャルをもつ

出所: Bloomberg 掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

※期間: 1999年12月末～ 2023年11月末。グラフの起点時を100として指数化。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

TOPIXを上回るレオス日本小型株マザーファンドの運用実績

ひふみマイクロスコープproはファミリーファンド方式でレオス日本小型株マザーファンドにて運用します。



設定来
約10倍

期間:2011年11月16日~ 2023年11月末 小数点第1位を四捨五入して表示しています。レオス・キャピタルワークス作成。
※レオス日本小型株マザーファンドはベンチマークを設けておりませんが、TOPIX(配当込み)を参考のため表示しております。
※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
※当ファンドは一部、時価総額が相対的に大きい銘柄を組み入れることがあります。

株式市場の変化に柔軟に対応

ひふみマイクロスコープproでは、世界情勢や経済の変化に対応し、保有する株式の比率を柔軟に変化させることで効率性の高い運用を目指します。

	レオス日本小型株マザーファンド	TOPIX（配当込み）
年率リターン	20.79%	12.85%
年率リスク	18.55%	15.74%
シャープレシオ（リターン／リスク）	1.12	0.82

期間:2011年11月末～2023年11月末(設定日が月中の為、設定月末を起点として算出)

年率リターン:上記期間の累積リターンの年率換算値。

年率リスク:各月リターンの標準偏差の年率換算値。

シャープレシオ:年率リターンから無リスク資産の年率リターンを引き、年率リスクで除したものの。

レオス日本小型株マザーファンドはベンチマークを設けておりませんが、TOPIX(配当込み)を参考のため表示しております。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」といいます。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

※当ファンドは一部、時価総額が相対的に大きい銘柄を組み入れることがあります。

出所:Bloomberg等掲載情報に基づきレオス・キャピタルワークス作成。

イノベーティブに挑戦していく

- ファイナンシャルインクルージョンの3D化を果たす
- 日本企業をあらゆる角度から応援（スタートアップから大手まで）
- あらゆる人たちを応援する（性別・国や地域・年齢・資産の大小も様々）
- 金融業態の垣根を越えて投資の魅力を社会の隅々に



RHEOS CAPITAL WORKS

3

新NISAと日本株好調による ビジネス機会の創出

新NISA関連のコンテンツ強化



ウェビナー

新NISAについての
Q&Aセミナー

2023年から開催

参加お申込み数：のべ **2,384**件

アーカイブ総視聴者数： **7,175**回

※2024/2/5時点 YouTubeアーカイブ4動画の合計



YouTube「お金のまなびば！」

はじめての
じぶん資産形成講座

11-12月に新NISA関連の
動画を2本追加

総再生数： **137,556**回

※2024/1/30時点 2動画の合計



YouTube「お金のまなびば！」

はじめてのじぶん資産形
成講座新NISAライブ

チャット欄が活況

総再生数： **4,810**回

※2024/1/30時点



YouTube「お金のまなびば！」

藤野&三宅による
年末年始対談

年始を狙ってNISAの話題を配信

再生数： **60,162**回

※2024/1/30時点

販売パートナーとの取り組み（新NISAセミナーの強化）

■ 販売パートナーと共催でNISAセミナーを実施

2024年から新しくスタート!

NISA

セミナー開催

個別相談も実施中
お気軽にお立ち寄りください

北海道銀行 × **RHEOS CAPITAL WORKS**

77七十七銀行 × **U3i3 mini**

『NISA』ってなに?を解決!

無料オンラインセミナー

~「2024年は未来への投資元年にしよう」と決意する90分~

2024年1月20日(土)
午前 10:00~11:00 [オンライン(Zoom)開催]

「NISA」投資の仕組みをお持ちの方、ぜひ参加ください!

- ☑ NISAの制度についてよく分からない
- ☑ 投資をはじめたいが何をしたら良いかわからない
- ☑ 投資をはじめた方がいいかわからない

講師
藤野 英人

お申し込み方法
右記二次元コードを読み取り、ひふみのセミナーページのフォームよりお申し込みください。

2024年 熊本・熱い! 日本橋・熱い!

今年は「新NISA」を活用して投資をしませんか!?

無料オンラインセミナー
2024年3月6日(火)
18:00~19:00 [オンライン(Zoom)開催]

講師
渡邊 庄太 (RHEOS)
松本 凌佳 (肥後銀行)

お申し込み方法
下記URL、または右記二次元コードからお申し込みください。

足利銀行 × **RHEOS CAPITAL WORKS**

2024新春
オンラインマーケットセミナー

参加無料【定員450名 お申し込み先着順】

2024年1月20日(土)
ご視聴方法: Zoom

午前 10:00~11:30
マーケットと新NISA制度について

午後 1:00~2:30
お金を取り巻く環境とひふみのご紹介

お申し込み方法
右記二次元コードを読み取り、フォームよりお申し込みください。

事例

1月20日開催 七十七銀行様との共催 オンラインセミナー
『NISA』ってなに?を解決!
~「2024年は未来への投資元年にしよう」と決意する90分~

参加お申し込み数 :約400名

2月以降の他社との共催セミナーでも多数のお申し込みをいただいている状況です。

■ マーケティングサポート

共催のセミナーは当社内製で左記のポスターやチラシ、Web用バナー、アプリ用バナー等を提供。地方誌とのタイアップなども行い、マーケティングサポートを行っています。

日本株に関するコンテンツの強化

最近なんだかいい感じ？

日本の株式市場の魅力を
楽しくまなぶ

9/25(月)
20:00~20:50

オンラインセミナー

最近なんだかいい感じ？

日本の企業・
株式市場の魅力を
楽しくまなぶ

リアル & Web配信

最近なんだかいい感じ？

日本の企業・
株式市場の魅力を
楽しくまなぶ

リアル & Web配信

OWNEDメディア「ひふみラボ」

日本の株式市場の魅力を
楽しく学ぶ

リアル&オンラインのハイブリット開催
YouTubeでもアーカイブを配信

アーカイブ総再生数：2,408回
※2024/2/5時点 3つの動画のアーカイブ合計



記事コンテンツへ展開

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #1

いよいよ日本にもインフレの波がやってきた【今が日本の転換点？インフレで変わる日本株！】#1

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #2

アメリカに負けていない！日本の巻き返しは始まっている【今が日本の転換点？インフレで変わる日本株！】#2

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #3

アナリストは見た！東証改革で変わる日本企業の意識【大変革！日本企業が迎えるターニングポイント】#1

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #4

日本企業の改革を投資家として支える意味【大変革！日本企業が迎えるターニングポイント】#2

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #5

インバウンドで増える〇〇なホテルとは？【企業調査の最前線！コロナ禍以降の日本で起こっていること】

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #6

食品価格の高騰は、ピンチでもありチャンスでもある？！【企業調査の最前線！コロナ禍以降の日本で起こっていること】

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #7

水平分業からみる半導体の業界【ビジネスモデルの変化に着目！成長する市場の探し方】#1

STEP

いいじゃんニッポン!

日本株の魅力を
再発見 #8

水平分業からみる製薬や身近なテーマ【ビジネスモデルの変化に着目！成長する市場の探し方】#2

OWNEDメディア「ひふみラボ」

いいじゃんニッポン！
日本株の魅力を再発見！

8本にわたる連載

総閲覧数：2,774 View
※2024/2/5時点 全8本の記事の合計閲覧数

販売パートナーとの取り組み（社員向け、お客様向けの日本株セミナー強化）

販売パートナーやお客様とのリレーションを強化



秋田銀行様にて
頭取にご挨拶・情報交換



秋田銀行社員の方に向けた研修
(リアル参加の他、全支店にオンライン配信)



秋田銀行様と共催のお客様向けのセミナー
(歩留まり97%!!)



セミナー終了後には
地元紙から取材いただきました

■ 販売パートナーに向けた研修

当社商品を顧客へ説明してくださる販売パートナーの社員の方に向けて、投資や商品への理解を深めていただけるよう、営業部や運用メンバーが研修を行っています。

■ 日本株式市場のセミナーも開催

最近では、日本株好調の動きから、日本株について解説するセミナーなども開催しており、今後も強化する予定です。

事例

2月3日開催 秋田銀行様との共催セミナー（リアル会場）

**資産をしっかりとつくるために
投資の本質をまなぼう～日本株式市場の変化とは～**

参加お申込み数：100名以上（定員100名の募集）

現時点で、掲載日や掲載形式などは未定ですが地元紙にも取材いただきました。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は、レオス・キャピタルワークス株式会社（以下「当社」といいます。）の企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。
- 本資料は、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。また、過去の実績値は将来のパフォーマンスを示唆または保証するものではありません。
- 当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化やお客様のニーズ及び嗜好の変化、他社との競合、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報または第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。
- 本資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。
- 「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報（ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません）の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務（信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務）です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。
- 各種マーケットデータについて
 - TOPIXの指数値およびTOPIXに係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIXに係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIXの指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。
 - MSCI ACWIは、MSCI Inc.が開発した、世界の先進国、新興国の株式を対象として算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。
 - S&P500は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が米国の代表的な500社を選出し算出・公表する指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社に帰属します。